

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社アイフリークモバイル 上場取引所 東
コード番号 3845 URL <https://www.i-freek.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）吉田 邦臣
問合せ先責任者 （役職名）管理部長 （氏名）三宅 公崇 TEL 03-6274-8901
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	960	—	10	—	13	—	13	—
2025年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	0.62	0.61
2025年3月期中間期	—	—

（注）2025年3月期中間期は連結業績を開示しておりましたが、2025年3月期第3四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2025年3月期中間期の経営成績（累計）及び対前年中間期増減率については記載していません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,392	942	67.4
2025年3月期	1,392	859	61.4

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 938百万円 2025年3月期 855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,816	△9.4	△60	—	△63	—	△63	—	△2.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	22,239,641株	2025年3月期	21,339,641株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	21,528,165株	2025年3月期中間期	17,839,641株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年12月3日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	4
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、継続するインバウンド需要の好調に伴う増加、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移したものの、国内においては物価の上昇が続いており、消費マインドの下振れが懸念されております。また、米国の通商政策やウクライナ・中東情勢など不確定要素も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社においては2025年6月に刷新された新経営体制のもと、引き続き、軸となるコンテンツ事業とDX事業の二つの事業活動の推進に努めてまいりました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高は960,635千円、営業利益は10,863千円、経常利益は13,572千円、中間純利益は13,307千円となりました。なお、当社は、前中間会計期間は中間連結財務諸表を作成しておりますが、当中間会計期間より中間財務諸表を作成していることから、前中間会計期間との比較分析は行っておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<コンテンツ事業>

コンテンツ事業では、利益構造の最適化のため、引き続き外注加工費や広告宣伝費等の削減を実施した結果、最終的な赤字解消には至らなかったものの、利益面においては改善が見られました。

また、法人顧客からのコンテンツ制作の新規案件の受注など、当社コンテンツの将来的な収益に繋がる施策は当中間会計期間においても継続的に実施しました。一例として、当社運営の子ども向け絵本専門YouTubeチャンネル「ポボキッズ」で人気の絵本作品をアニメーション動画にした「ライトアニメ®」を大日本印刷株式会社と共同制作し、2025年10月からの「Netflix」での国内独占配信が決定するなど、コンテンツ事業の収益源の多角化及びユーザー層拡大に向けた取り組みを推進いたしました。

今後も引き続き、収益性と成長性の両立に向けて、運用効率とマネタイズ手法の改善に取り組んでまいります。

これらの結果、コンテンツ事業の売上高は14,310千円、セグメント損失は6,354千円となりました。

<DX事業>

DX事業につきましては、2025年4月からの新たな事業推進体制のもと、生成AI・データサイエンス・クラウドなどの専門領域に特化した人材の育成を進めながら、商流改善を図りつつ、高単価案件の獲得を目指した取り組みを併行して推進いたしました。その結果、当中間会計期間の売上高は安定的な数値を維持いたしました。

今後もこれらの取り組みを継続させ、DX事業のさらなる収益性の向上に努めてまいります。

これらの結果、DX事業の売上高は946,324千円、セグメント利益は135,099千円となりました。

（注）製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

（2）当中間期の財政状態の概況

流動資産は、前事業年度末に比べて512千円（0.0%）増加し、1,384,250千円となりました。これは主として、売掛金が60,621千円、未収入金が6,949千円減少する一方、現金及び預金が71,715千円、仕掛品が3,171千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて64千円（0.8%）増加し、8,512千円となりました。これは主として、投資その他の資産が36千円減少する一方、有形固定資産が100千円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前事業年度末に比べて577千円（0.0%）増加し、1,392,763千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて43,424千円（13.8%）減少し、271,626千円となりました。これは主として、前受収益が3,299千円増加する一方、未払費用が18,406千円、未払金が12,273千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて38,605千円（17.8%）減少し、178,746千円となりました。これは主として、長期借入金が36,804千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前事業年度末に比べて82,029千円（15.4%）減少し、450,372千円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて82,607千円（9.6%）増加し、942,390千円となりました。これは主として、資本金が99,677千円減少した一方、資本剰余金が169,823千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表しました通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,003,616	1,075,331
売掛金	339,751	279,130
仕掛品	404	3,576
未収入金	10,716	3,767
前払費用	16,855	17,880
短期貸付金	7,860	7,860
立替金	7,263	5,752
その他	7,109	797
貸倒引当金	△9,841	△9,845
流動資産合計	1,383,737	1,384,250
固定資産		
有形固定資産	—	100
投資その他の資産	8,448	8,411
固定資産合計	8,448	8,512
資産合計	1,392,185	1,392,763
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,187	18,398
1年内返済予定の長期借入金	73,608	73,608
未払金	21,021	8,747
未払費用	124,206	105,799
未払配当金	1,183	627
未払法人税等	7,962	265
未払消費税等	25,197	21,012
未払事業所税	2,012	1,674
前受収益	5,027	8,326
預り金	36,645	31,358
資産除去債務	—	1,808
流動負債合計	315,050	271,626
固定負債		
長期借入金	214,116	177,312
資産除去債務	3,235	1,434
固定負債合計	217,351	178,746
負債合計	532,402	450,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,750	45,073
資本剰余金	588,673	758,496
利益剰余金	121,892	135,199
株主資本合計	855,315	938,768
新株予約権	4,468	3,622
純資産合計	859,783	942,390
負債純資産合計	1,392,185	1,392,763

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

当中間会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）	
売上高	960,635
売上原価	716,588
売上総利益	244,047
販売費及び一般管理費	233,183
営業利益	10,863
営業外収益	
受取利息	933
助成金収入	1,400
受取補償金	2,328
その他	564
営業外収益合計	5,227
営業外費用	
支払利息	1,552
雑損失	964
その他	1
営業外費用合計	2,518
経常利益	13,572
税引前中間純利益	13,572
法人税、住民税及び事業税	265
法人税等合計	265
中間純利益	13,307

（3）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当中間会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	13,572
助成金収入	△1,400
売上債権の増減額（△は増加）	60,621
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,171
立替金の増減額（△は増加）	1,511
未払金の増減額（△は減少）	△12,273
未払費用の増減額（△は減少）	△18,406
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,184
前受金の増減額（△は減少）	8,046
預り金の増減額（△は減少）	△5,287
その他	8,033
小計	47,061
助成金の受取額	1,400
法人税等の支払額	△7,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△106
利息及び配当金の受取額	933
投資活動によるキャッシュ・フロー	827
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△36,804
利息の支払額	△1,552
新株予約権の行使による株式の発行による収入	69,300
その他	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,388
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	71,715
現金及び現金同等物の期首残高	1,003,616
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,075,331

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額(注) 1	中間財務諸表 計上額(注) 2
	コンテンツ事業	D X 事業			
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	14,310	946,324	960,635	—	960,635
外部顧客への売上高	14,310	946,324	960,635	—	960,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,310	946,324	960,635	—	960,635
セグメント利益又は損 失（△）	△6,354	135,099	128,745	△117,881	10,863

（注） 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年7月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額134,750千円及び資本準備金の額134,750千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

また、当中間会計期間において、第18回新株予約権の権利行使により新株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ35,073千円増加しております。

これらの結果、当中間会計期間末において、資本金が45,073千円、資本剰余金が758,496千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	1,075,331千円
現金及び現金同等物	1,075,331

（重要な後発事象）

該当事項はありません。